

「人」と「まち」をつなぐ

スズの

Ebino city Public relations

広 報

4

2014
APR
vol.570



今月の掲載記事

平成 26 年度施政方針・当初予算

4 月から 30 人学級が始動

新たな体制でスタート

CIVIC NEWS

まちのわだい

Face 人 若者プロジェクトMAIKA

うまかもん「ブロッコリーのガーリック炒め」

3月定例会が3月4日から3月24日まで開かれ、村岡市長は「平成26年度施政方針」を述べました。今回は、その内容の一部を抜粋してお知らせします。

■今年度の施政方針

えびの市の財政状況は、市税などの自主財源比率が依然として低迷し、義務的経費も硬直化しており厳しい状況です。

しかし、昨年オープンした道の駅えびのでは、50万人近くの来場者が訪れるなど、販売拠点、情報発信拠点として大きな経済効果を出しています。東九州自動車道の開通を踏まえ、交通の要衝にある本市の特性を生かし、打つべき政策を積極的に展開していく必要があります。また、田代自治会が農林水産祭むらづくり部門で天皇杯を受賞するなど、市民一丸となった発展の息吹が感じられるようになりました。こうした動きをさらに大きなうねりに変え、めざす都市像である『大自然と人々が融合し「新たな力」が躍動するまちえびの』を市民とともに実現していくために、将来世代に負担を強いることがないよう健全な財政運営を図りつつ、未来へつなげる投資を積極的に展開していかねばなりません。

このようなことから、平成26年度当初予算は、「定住・交流人口の増加」、「働く場の確保」、「産業の振興」

■郷土を担う人材の育成

学校教育の充実では、徹底した学力向上と地域に貢献する人材の育成を目指し、きめ細かな指導を行うため、小・中学校の全学年で県内初となる30人学級を導入します。また、幼保小連携・接続推進事業を市内全小学校区で実施していきます。

■郷土文化の継承と創造

国の重要文化財に指定された島内地下式横穴墓群出土品を保護・展示し、復元した墳墓を公開します。併せて本市の持つ歴史・伝統文化を市内外へ発信していきます。

■健康の保持と促進

健康づくりの推進では、市民誰もがいきいきと健康に暮らしていけるように、疾病の予防、早期発見、早期治療と重症化予防に重点を置いた事業を展開し、市民自らが積極的に心と体の健康づくりに取り組めるよう支援していきます。特に、特定健康診査は、自己負担額を無料とし、全額を助成します。

■協働のまちづくり

市民協働によるまちづくりでは、「えびの市協働推進指針」に基づき、協働の啓発や市民学習会と職員研修

を最重要課題に位置付け、「ふるさと新興『結いのまち創造』予算」として編成したところです。

平成25年度に最重要課題として位置づけた「地域経済の活性化」、「安心・安全の確保」、「自治組織の活性化」の重要施策枠についても、継続事業として、予算措置をしました。

■資源を生かした産業の振興

農業の振興では、農業担い手の確保、農業生産法人と集落営農組織の拡充を図っていきます。

農産園芸の振興では、将来に向けた新規品目として新たにオリーブの産地づくりに取り組んでいきます。畜産の振興では、繁殖農家の規模拡大を強力に進め、肥育農家への市貸付牛貸付枠の拡大や、日本一となった宮崎牛やハーブ牛等の消費拡大に取り組んでいきます。企業誘致では、企業誘致対策監を

を実施し、市民活動の拠点となる市民活動支援センターの活動がさらに活発化するように取り組んでいきます。

■かおの見える福祉の充実

子育て支援対策では、引き続き保育サービスの充実を図っていきます。特に、子ども医療費助成事業では、助成対象を中学生まで拡大。生後4か月までの乳児のいる全ての家庭を訪問する乳児家庭全戸訪問事業を実施して、育児に関する助言や相談等の支援を行っていきます。

高齢者福祉事業については、地域全体で高齢者の自立生活を支え合い、安心して住みなれた地域で日常生活が続けられる環境づくりを進めていきます。高齢者の新たな交流拠点として完成予定の高齢者交流プラザを、高齢者の憩いの施設として活用していきます。

■安心・安全のまちづくり

交通安全対策の推進では、市民総ぐるみの交通安全意識の高揚を図るとともに、運転に不安を感じている高齢者の運転免許証返納促進などの取り組みを行います。

地域防災力の向上では、市民の防災意識の高揚、自主防災組織の活動支援・強化に努め、行政と市民・地域が協働で地域の防災力を向上させるまちづくりに取り組んでいきます。

配置し、地理的優位性を生かした企業立地を積極的に推進していきます。

再生可能エネルギーの有効活用では、白鳥温泉下湯の蒸気井を活用した企業連携による地熱発電事業の推進を図っていきます。

観光の振興では、多様な観光資源を有機的に結びつけ、情報を効果的に発信し、魅力向上を図り、着地型観光の推進、交流人口の拡大を図っていきます。

■活力につながる環境づくり

まちづくりでは、「安全に安心して暮らせるまちづくり」をめざして、長期的な視点で都市の将来像を明確にし、その実現に向けての道筋を明

す。

■美しい景観の保全

生活環境づくりでは、河川浄化につながる合併処理浄化槽設置整備事業を引き続き推進しながら水質保全に努めていきます。

■住みよい生活環境の確保

定住対策では、新たに住宅を新築、購入した人に最高で100万円を補助するなど、積極的に取り組めます。また、新規就農者への支援事業の拡充を行うとともに、実際に市内で生活してもらうお試し滞在助成制度を実施していきます。

地域交通運行対策事業では、西部地区でのコミュニティバスの実証実験運行を引き続き実施し、平成24年度に実施した東部地区での実証実験運行の結果と併せて検証を行い、福祉タクシー事業等の交通手段との連携による地域交通運行対策の検討を進めていきます。

以上、平成26年度の施政方針と施策の概要を申し上げますが、第5次えびの市総合計画の着実な推進に向けて、市民と一体となり、また、協働することにより『大自然と人々が融合し、「新たな力」が躍動するまちえびの』の実現に向け、各種施策・事業に取り組んでいきます。

市民の皆さんのさらなるご理解とご協力をお願いします。



平成26年度施政方針

市民協働のまちづくり

平成26年度当初予算

一般会計予算は、109億1,700万円です

■会計別予算の状況

会計	26年度	25年度	増減率
国民健康保険特別会計	36億9,700万9千円	36億7,078万円	0.7%
後期高齢者医療特別会計	6億4,152万4千円	6億2,520万5千円	2.6%
介護保険特別会計	30億4,721万2千円	28億487万9千円	8.6%
水道事業会計	7億8,743万8千円	6億2,577万3千円	25.8%
病院事業会計	12億3,449万円	10億2,355万3千円	20.6%

※観光特別会計は、平成25年度末で廃止となりました。

■市民一人あたりの予算額（一般会計）

※3月1日現在、住民基本台帳で算出。

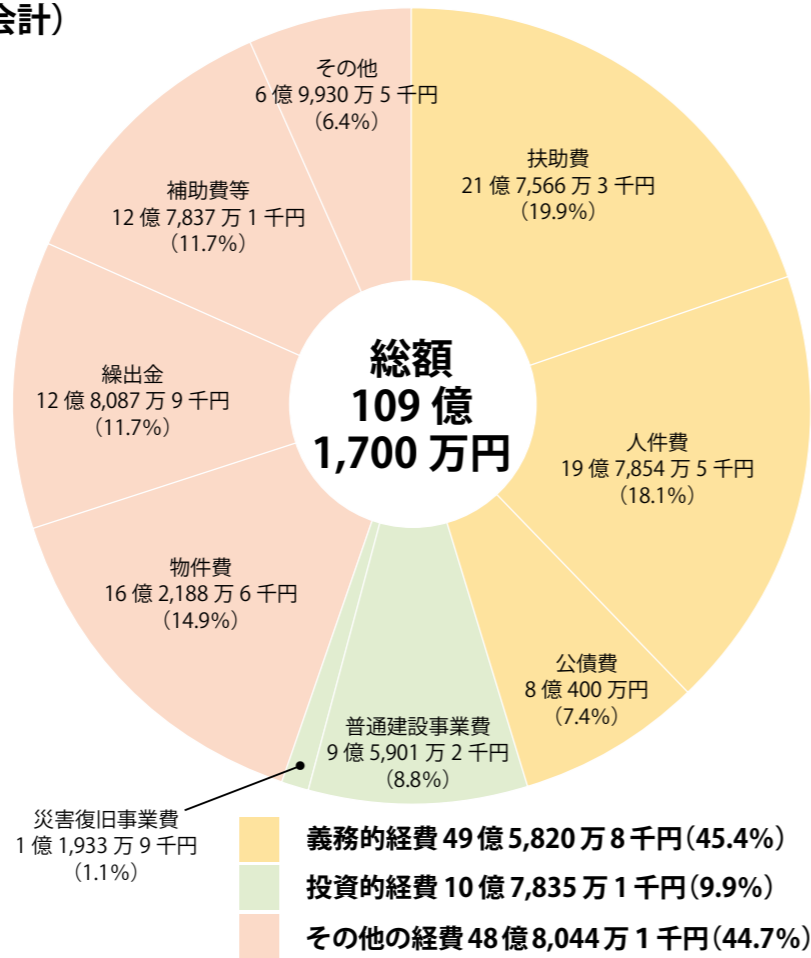
1人あたり約512,607円



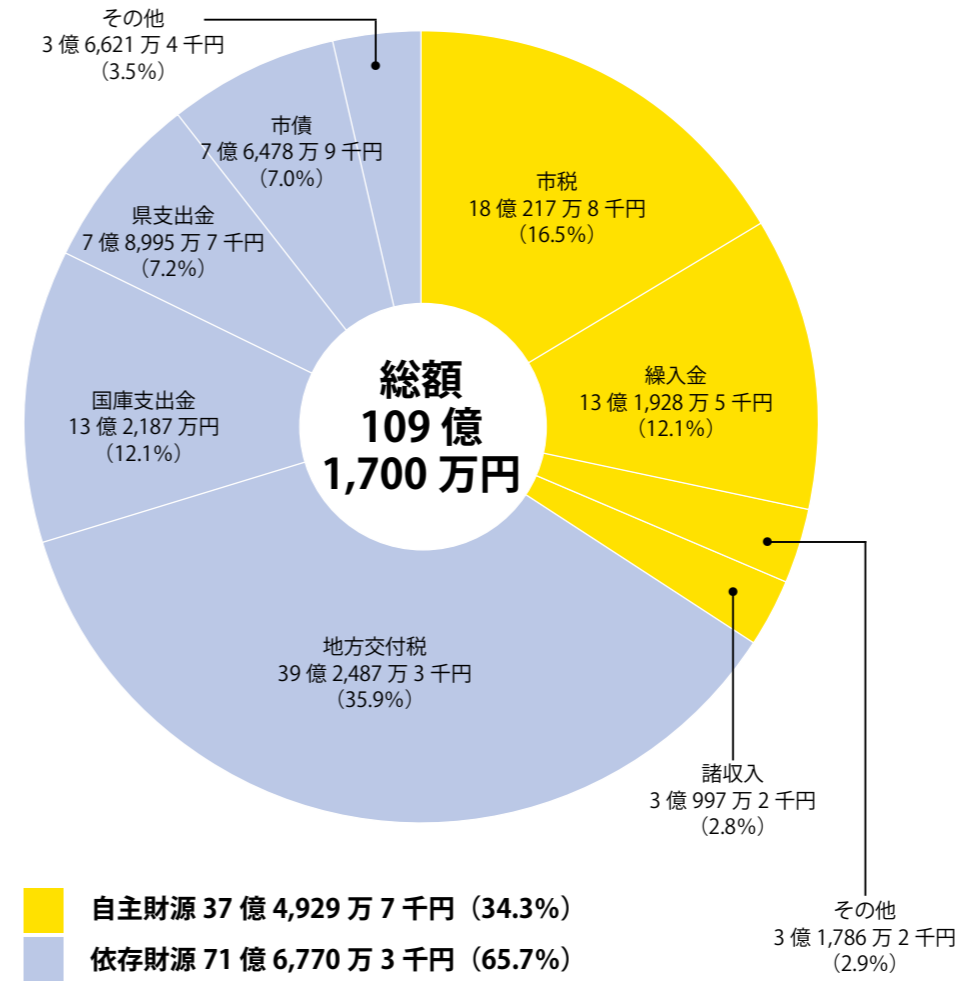
1世帯あたり約1,079,075円



歳出



歳入



平成26年度の一般会計当初予算についてお知らせします。平成26年度一般会計予算の総額は、歳入、歳出それぞれ109億1,700万円です。平成25年度当初予算と比較すると、7億3,000万円、率にして約7.2%の増額予算となりました。歳入予算の財源割合は、構成比で自主財源（自主的に収入できる財源）は

34.3%、依存財源（国や県からの交付金・支出金や、市債による財源）は65.7%となっております。依存財源の割合が高くなっています。歳入予算の主な事業内容については、来月「わかりやすい予算書」でお知らせします。

【市財政課財政係 35・1111（内線381）】

■一般会計歳出目的別の状況

科目	26年度	25年度	増減率	科目	26年度	25年度	増減率
議会費	153,933千円	154,211千円	-0.2%	土木費	672,679千円	610,453千円	10.2%
総務費	1,571,454千円	1,528,157千円	2.8%	消防費	444,738千円	335,509千円	32.6%
民生費	3,889,637千円	3,754,350千円	3.6%	教育費	810,966千円	655,486千円	23.7%
衛生費	1,216,206千円	1,021,075千円	19.1%	災害復旧費	156,964千円	127,531千円	23.1%
労働費	7,448千円	8,018千円	-7.1%	公債費	804,000千円	825,134千円	-2.6%
農林水産業費	827,675千円	835,075千円	-0.9%	予備費	30,511千円	30,027千円	1.6%
商工費	330,789千円	301,974千円	9.5%	合計	10,917,000千円	10,187,000千円	7.2%

■用語の説明

歳入
 【自主財源】市が自ら徴収または収納できる財源。
 【依存財源】国や県により決定された額を交付されたり、割り当てられたりする財源。
 【地方交付税】地方公共団体が等しくその行うべき事務を遂行できるように、一定の基準により国を通じて交付されるお金。
 【国庫支出金】国から地方自治体に支出される補助金や委託金。
 【市債】市がさまざまな事業を行う時、借り入れるお金。

歳出
 【義務的経費】その支出が義務付けられ、任意に削減することが困難な経費。
 【投資的経費】その支出が建物、学校、道路など、資産形成に向けられる経費。
 【扶助費】法令に基づき、被扶助者に支出される経費。
 【人件費】市職員給与、市議会議員・各種委員報酬などの経費。
 【公債費】市が借り入れたお金の償還金。
 【普通建設事業費】道路、橋りょう、学校、庁舎など公共施設の新設や増設に要する経費。



えびの市教育委員会
萩原和範 教育長

30人学級実施への思い

市内小中学校では、問題行動等は、ほとんどありませんが、40人学級だと児童・生徒一人ひとりになかなか教師の目が行き届かず、対応が遅れる場合があります。しかし、30人学級だと、一人ひとりに目が行き届き、いじめなどの問題に素早く対応できます。また、一人ひとりに応じたきめ細やかな指導で基礎学力の向上が期待できます。

30人学級では、教師と子どもの関係も緊密化し、教育相談などが的確に行えます。さらに、子どもたちの自己表現力やコミュニケーション力が育まれます。

えびの市の教育で、地域に貢献する人材、さらには、日本や世界で活躍する人材を育てていきたいと思えます。



市独自の取り組みで確かな学力
4月から30人学級が始動

市では、平成26年4月から「徹底した学力向上」と「地域に貢献する人材の育成」を目指し、市内全小中学校で30人学級の実施を始めました。これまでの学級は、国の定めた1学級、定数40人に準じ、学級を編成していました。平成26年度からの市内全小中学校は、1学級30人以内で学級を編成しています。30人学級の市内全小中学校実施は、宮崎県内では初の試みです。これは、全国でも非常に珍しい取り組みです。

30人学級で期待できる効果

30人学級を行うことで、子どもたち一人ひとりへのきめ細やかな教育ができ、基礎学力の向上が期待できます。また、友だち同士がお互いの個性を理解し合い、自己表現力やコミュニケーション力が育まれます。さらに、えびのの人々や自然・文化とふれあう機会も増えます。そのことにより、ふるさとを愛し、ふるさとに自信と誇りを持つ子どもたちが増え、地域に貢献する人材の育成が図られます。

えびの市の教育を充実することは、えびの市で教育を受けさせたいと思う人を増やすことにもつながります。そういった人を増やすことで、「えびのに住もう」、「えびの市で教育を受けさせよう」と、えびの市への定住を希望する人の増加も期待できます。その他にも次のような効果が期待できます。

- ◎一人ひとりに目が行き届き、いじめなどの問題への素早い対応
- ◎宿題などの提出物に的確で丁寧なコメントができ、それを見た子どもたちの学習意欲が向上
- ◎教師と子どもの関係が緊密化し、迅速、的確な教育相談などを実施

市単独で教員11人を配置

市では、40人学級を30人学級に編成するため、12学級を増設しました。飯野小学校3学級（3年、4年、6年）加久藤小学校3学級（1年、3年、4年）真幸小学校3学級（1年、4年、6年）飯野中学校1学級（2年）真幸中学校2学級（1年、2年）学級の増設に伴い、教員が不足します。そこで、市の単独の予算で常勤講師11人を雇用し、増設した学級に配置しました。また、必要な備品等の整備も必要です。それらに伴う市の予算は4812万9千円です。

☎ 学校教育課教育係
35・1111（内線411）

新たな体制でスタート



市では、4月1日からえびの市の地理的優位性を生かした企業立地を積極的に推進していくため、観光商工課に「企業誘致対策監」を配置しました。企業誘致対策監には、県からの人事交流派遣職員として岩下一彦さんが着任しました。

平成26年度の職員数は、新規採用職員19人（一般事務職14人、土木技師4人、看護師1人）を迎え301人となります。

えびの市と宮崎県との連携強化と職員の資質向上を図るため、山下泰主事（前福祉事務所）

を実務研修職員として、宮崎県に派遣しました。派遣期間は1年です。

また、西諸広域行政事務組合から実務研修職員として、市総務課防災対策係に同組合職員1人の受け入れを行いました。

今年度は、10月から来年3月までの6か月間、東日本大震災被災地（宮城県南三陸町）への職員の派遣を予定しています。

☎ 市総務課人事係
35-11111（内線315）

新規採用職員を紹介します

平成26年4月1日付けで、次の19人がえびの市役所の職員として採用されました。新規採用職員と県交流職員、西諸広域行政事務組合からの実務研修職員を紹介します。

建設課

はらうち じん
原内 迅

負けず嫌いな性格です。何事にも正面からぶつかっていき、一生懸命に取り組みます。

市立病院

よしむら のぞみ
吉村 望

笑顔での対応を忘れずに、患者さんには、いつも笑顔で対応できるようにしていきたいです。

健康保険課

かわはら さちよ
川原 沙千代

お客さんに笑顔で接していきたいです。早く仕事を覚え、えびの市に恩返しをしたいと思います。

水道課

みずたに こうすけ
水谷 亘佑

明るさと笑顔を前面に出し、市民の皆さんから期待され、信頼される職員になりたいです。

農林整備課

やました ひろき
山下 広毅

公務員としての自覚を持ち、職務に励みたいです。積極的に話しかける職員になりたいです。

健康保険課

もり けんたろう
森 健太郎

明るいのが取りえです。皆さんからたくさんありがとうといわれる職員になりたいです。

社会教育課

ほんだ よしあき
本田 義明

出会った人とのつながりなど、人とのつながりを大事に、職務に励んでいきたいです。

農林整備課

かい はやと
甲斐 隼斗

だれにでも頼られる職員になりたいです。積極的に多くの人と話をしていきたいです。

長寿介護課

すぎむら ゆうすけ
杉村 勇祐

市民の皆さんや職場の同僚などとコミュニケーションを取りながら職務に打ち込みたいです。

人事交流職員（県の交流職員）

いわした かずひこ
岩下一彦

一社でも多くの企業をえびの市に誘致し、活気のあるまちにできるようにがんばります。

農林整備課

すえよし かつのり
末吉 勝徳

積極的に多くの人とコミュニケーションを取り、信頼される職員になりたいです。

福祉事務所

くろぎ ただすけ
黒木 忠輔

何事にもコツコツと取り組み、市民の皆さんや職場の同僚などに愛される職員になりたいです。

実務研修職員（西諸広域行政事務組合職員）

とくしげ りゅうた
徳重 隆太

実務研修職員として、貴重な1年になります。えびの市で、多くのことを学びたいと思います。

建設課

たけのした なほ
竹之下 菜穂

解らないことは、自分で調べたり、周りに聞いたりして、1日でも早く仕事を覚えたいです。

福祉事務所

すぎお ともか
杉尾 朋香

1日も早く仕事を覚え、信頼される職員になりたいです。元気で明るく職務に励みたいです。

税務課

かわの こうへい
河野 幸平

表舞台よりも裏方の方が好きです。市民目線で何事も考えられる職員になりたいです。

税務課

いけだ てつや
池田 哲也

人と話をするのが好きです。多くの市民の方と接し、皆さんに信頼される職員になりたいです。

企画課

ひらまつ たかふみ
平松 貴文

笑顔で心がけています。人が嫌がりそうな仕事でも率先してできる職員になりたいです。

市民環境課

こはら しんたろう
小原 慎太郎

多くの市民の方と話をしていきたいです。市民の方に頼りにされる職員をめざします。

税務課

しおや まお
塩屋 摩旺

えびの市にこれまでお世話になってきました。今度は私がえびの市に貢献していきたいです。

市民協働課

なかやま
中山 かおり

地域の方と接しながら、少しずつ地域のことやえびの市の方言などを覚えていきたいです。

市民一人当たりのバランスシート 資産と負債のバランスは

市では、「現金主義・単式簿記」による現行の地方自治体の会計制度に「発生主義・複式簿記」といった企業会計的要素を取り込んだ新地方公

会計制度に基づき、一般会計を中心とした普通会計に公営事業会計（国保、介護、水道事業、病院事業等）及び関係団体（西諸広域行政事務組合等）を連結した財務書類（バランスシート、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書）を作成、公表しています。

資産をどのような財源（負債、純資産）で賄ってきたかを総括的に対照表示した財務書類です。表内の資産合計額（表

左側）と負債・純資産合計額（表右側）が一致し、左右が均衡（バランス）していることからバランスシートと呼ばれています。

今回、平成24年度決算分の財務書類をもとに、市の財政状況を身近に感じてもらえるよう、市民一人当たりに換算したバランスシートを作成しましたので紹介します。

■連結財務書類の対象となる会計・団体・法人

団体・会計の区分		会計名または組織名
行政サービス実施主体	えびの市	一般会計
		公営事業会計
	公営事業会計	国民健康保険特別会計
		後期高齢者医療特別会計
		介護保険特別会計（保険事業勘定）
		介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）
	公営企業会計	水道事業会計
		病院事業会計
		観光特別会計
		西諸広域行政事務組合
関係団体	宮崎県後期高齢者医療広域連合	
	宮崎県自治会館管理組合	
地方公社・第三セクター等		該当なし

■市民一人当たりのバランスシート

貸方（固定資産や株、預貯金などの資産）	借方（資産を手に入れるために払ったお金と借金）
○土地や建物などの固定資産 212万3千円	○借金（負債） 53万9千円
○株などへの投資 19万3千円	○すでに支払った額（純資産） 205万1千円
○現金・預金 27万4千円	うち国庫・県支出金で支払った額 60万5千円
資産合計 259万円	負債・純資産合計 259万円

■連結決算日 平成25年3月31日

■総資産合計 556億3,229万7千円、人口21,478人（平成25年3月31日現在）

口蹄疫発生から4年 防疫体制は万全ですか

えびの市で口蹄疫が発生して4年が経ちます。近隣諸国では、未だ口蹄疫が猛威をふるい、国内でも、口蹄疫がいつ発生してもおかしくない状況です。

また、宮崎県や鹿児島県を中心に豚流行性下痢（届出伝染病）の発生が全国的に続いています。

畜産農家の皆さん、えびの市で口蹄疫を二度と発生させないためにも、飼養家畜の健康状態等の観察と飼養管理基

準の徹底等、口蹄疫等の伝染病の侵入防止に万全を期すようお願いいたします。

【毎月20日は、消毒の日】

毎月20日は、県下一斉消毒の日です。以下のことを心がけましょう。

- 畜舎の消毒
- 消石灰散布
- 踏み込み消毒槽の点検
- 畜舎周囲の清掃

☎ 市畜産農政課畜産振興室
35・1111（内線222）

守ろう貴重な水資源 河川水質検査結果を公表

私たちが共有する貴重な財産でもある河川。市では、河川の環境保全のために水質検査を毎年行っています。

検査場所は、市内の7か所です。分析では、5項目（PHⅡ水素イオン濃度、DOⅡ溶解酸素量、BODⅡ生物学的酸素要求量、SSⅡ浮遊物質、大腸菌群数）の検査を実施しています。

市では、合併処理浄化槽の普及啓発を図ることで、河川の生活排水処理対策を行い、

☎ 市民環境課生活環境係
35・1111（内線285）



伝染病の侵入防止は万全を

●検査結果（検査日：平成26年2月21日）

項目	pH	DO	BOD	SS	大腸菌群数
単位	—	mg/L	mg/L	mg/L	MPL/100mL
環境基準	6.5～8.5	7.5以上	2以下	25以下	1,000以下
下久保原橋	7.2	11.6	0.5未満	1未満	50
二十里橋	7.2	11.9	0.5未満	1未満	490
池島橋	7.2	10.5	0.6	1	1,100
長江川橋	7.2	10.0	0.6	1	4,900
関川橋	7.3	10.7	0.5未満	1	110
新岩次橋	7.2	10.9	0.5未満	1未満	490
山川橋	7.0	12.2	0.5未満	1未満	70

※環境基準（昭和46年環境庁告示59号）の類型指定は河川A類型（川内川に流入する河川も含む）
※検査前日の天候（雨）により大腸菌群数が増えることがあります。

CIVIC NEWS

市政ニュース

4地区のコミュニティマネージャー 自治会活動の運営を支援

飯野地区、上江地区、加久藤地区、真幸地区のコミュニティセンターには、それぞれコミュニティマネージャーが配置されています。コミュニティマネージャーは、各自治会と連携を図りながら、自治会活動の情報提供や地域の実情の把握、集落の維持・活性化に必要な支援を行います。また、地域で行う世代間交流事業や学習会、地域づくり研修などでは、行政との連携を図ります。



藤崎さん、溝口さん、田中さん、愛甲さん（左から）

地域の活動に関することはコミュニティマネージャーにお気軽に相談ください。コミュニティマネージャーは、地域住民が気軽に交流できる施設です。いつでもご利用ください。自治会活動は、地域の活性化や防災対策など地域の問題解決に欠かすことのできない重要な役割を担っています。市民の皆さん、自治会活動に積極的に参加して、地域を盛り立てていきましょう。

●お問い合わせ先

地区名	コミュニティマネージャー	電話番号
飯野地区	田中 俊廣	33-0030
上江地区	溝口 幸男	33-5799
加久藤地区	愛甲 文広	35-2268
真幸地区	藤崎 裕之	37-3221

地域おこし協力隊員が新たに1人着任 地域の課題をともに解決

地域おこし協力隊員1人が、新たにえびの市にやって来ました。今回採用されたのは、京都府出身の木戸悠輔隊員です。これから3年間、地域おこし協力隊として、定住を目標に、えびの市内で地域おこしの各活動を行います。



見かけたら気軽に声をかけてください

木戸隊員は、「えびの市にきたとき、たくさんの人と話す機会がありました。えびの市には、気さくな人が多く、人の温かさを感じました。それがきっかけで、えびの市に住んでみたいと思いました。えびの市に来る前は、料理人として働いていました。料理を作るのと食べることで、お酒は好きです。機会があれば誘ってください」と話していました。新しい隊員は、早く地域にとけ込みたいと考えています。市民の皆さんの温かい支援をお願いします。

☎ 市民協働課市民協働係
35・1111（内線351）

えびのの新たな立地企業 企業立地協定を締結

えびの市大字大河平に工業用ゴム樹脂製品製造販売を営む新光ゴム工業株式会社（本社・愛知県名古屋市中区・林剛右代表取締役）の企業立地が決定しました。

3月31日、市役所で企業立地協定調印式が行われました。同社は、昭和26年に愛知県名古屋市中区で創業以来、東海地方を中心に多様化する市場ニーズに応えた、精密でより高機能なゴム製品の生産を行っています。九州地区での

生産の強化を図るため、えびの市に進出したものです。調印式で林代表取締役は「えびの市の皆さんには多くの協力をいただき、ようやく4月2日から会社として発進することになりました。今後は、従業員が安心して仕事ができる会社をつくっていきたいです。市内から従業員の新規雇用も予定しています」と話していました。

☎ 市観光商工課
35・1111（内線333）

えびの市住宅取得定住促進支援金交付事業 市内での新築等を支援

市では、市の定住促進と人口減少を抑制するとともに、地域経済の活性化を図るため、自己の居住を目的に住宅を初めて新築または新規購入する場合にその経費の一部を2回に分けて交付する「住宅取得定住促進支援金交付事業」を実施します。支援金額、交付要件、交付対象者は、左表のとおりです。【申請方法】対象住宅を取得した日から1年以内に必要書類等をそろ

え、初回申請を行ってください。交付申請書の様式等は、市財産管理課窓口で配布するほか、市ホームページ（<http://www.city.ebino.lg.jp/>）からもダウンロードできます。●その他、交付方法・交付申請の時期および添付書類等の詳細は、市財産管理課住宅係までお問い合わせください。

☎ 市財産管理課住宅係
35・1111（内線343・344）



調印後、握手を交わす市長と林代表取締役

●住宅取得支援金額

支援金額	限度額	交付要件
住宅取得費の10%	50万円	市内業者を利用した場合
	30万円	市外業者を利用した場合

※ 住宅取得費に土地代は含まれません。

●加算額

支援金の種類	支援金額	限度額	交付要件
移住加算金	30万円	1世帯 30万円	平成26年4月1日以降に移住してきた者
住宅取得者子育て加算金	1人×10万円	20万円	中学生以下の被扶養者1人につき加算

●交付対象者

- 平成26年4月1日以降に住宅を新築または購入し、引き続き5年以上本市に居住する意志がある者
- 市内に他の住宅を有しない者
- 2人以上の家族で世帯を構成する者
- 居住地の自治会に加入した者
- 市税等の滞納がない者
- 火災、事故または公共工事に係る保険金または補償金等による住宅取得者ではないこと



平成26年度えびの市消防団入退団式
新たな組織体制で始動

4月6日、永山運動公園で、平成26年度えびの市消防団入退団式が行われました。今年度は、新たに26人が消防団に入団、26人が退団しました。式では、通常訓練や新入団員などへの辞令交付、巡閲などが行われました。新入団員を代表して、第3分団第1部に入部した山平翔太さんが「市民の安全・安心のため、良心に従い、忠実に消防の職務を遂行することを誓います」と宣誓しました。



防犯ブザー 170個を寄贈
子どもたちの防犯に役立てて

3月27日、西諸地区生コンクリート事業協同組合の役員2人が市長を訪問。防犯ブザー170個を市に寄贈しました。これは、同組合が今春1年生になる児童の防犯に役立ててもらおうと贈ったものです。寄贈にあたり同組合の外村公明さんは、「通学の安心安全のため、この防犯ブザーが犯罪などの抑止力につながれば」と話していました。防犯ブザーは、4月10日の入学式で渡されました。

3月16日、市文化センターで「国立公園霧島指定80周年記念式典」が行われました。式典には、約300人の市民が参加しました。式典は、今西地区の郷土芸能で幕を開け、シンポジウム、記念講演が行われました。

講演会の講師には、タレントの高木美保さんが招かれました。高木さんは「未来に伝えたい自然の豊かさ」の演題で、自身の自然と共にある生活でわかった観光地を守っていく方法などを体験談を交え話されました。

国立公園霧島80周年記念式典

霧島山の重要性を考える



4月3日、「春の地域安全・交通安全運動」決起集会在市文化センターで行われました。集会には、39団体の約250人が参加しました。この決起集会は、犯罪や交通事故のない安心して生活できるえびの市を目指そうと行われているものです。集会では、新入学児童生徒の代表に防犯ブザーなどが手渡されました。集会の最後には、参加者全員でがんばろう三唱を行い、交通事故防止への決意を固めました。



春の地域安全・交通安全決起集会

交通事故ゼロを目指して



市民の安心安全のために
消防車2台を新しく

3月20日、えびの市消防団第1分団4部(上・中・西・上江)と第1分団5部(末永・白鳥)の消防車両2台が更新されました。車両の更新は、1分団4部の消防ポンプ自動車平成25年度霧島演習場等周辺消防施設設置助成事業を活用して行われ、1分団5部の小型動力ポンプ付き消防自動車は、市の単独予算で行われました。1分団5部の島本車部長は、「市や地域のため活動に励みます」と話していました。



芝生でフリーマーケット
春のえびのを満喫

3月16日、国際交流センター野外ステージで、「シバフェフリマ」が行われました。フリーマーケットとステージイベントなどを市内外の人に楽しんでもらおうと、若者プロジェクトMAIKA主催で行われたものです。会場には、古着、小物など約45店の店が並び、市民ら約1500人が来場しました。会場では、子どもたちにも楽しんでもらおうとキッズ広場が設けられていました。



街営チャレンジプロジェクト

MAIKA

えびの市を盛り上げたい

①指でMAIKAの頭文字M(エム)をつくるMAIKAメンバー ②来場者の車を誘導する林竜太郎さん ③飯野高校生のボランティアに指示をする久保和子さん ④風で倒れた遊具を運ぶ米澤亮さん ⑤司会進を行う藤久保知世さん ⑥受け付けの確認をする吉元恵美さん(左)と久保志江さん(右) ⑦緊張した趣で開会宣言を行う代表の川俣敏郎さん ⑧キッズスペースの準備をする廻祐哉さん(左)と原内迅さん(右)

MAIKA 市内の20歳から35歳ぐらいまでの12人の若者で構成された、若者の視点で新しいイベントなどを計画・運営する団体。平成23年1月に設立され、星空のピアガーデン(婚活イベント)、サンタクリーンウォーク大作戦、TEXASde告白しNIGHT(婚活イベント)、シバフdeフリマ(フリーマーケット)などを行う。

MAIKAの活動を広げたい

「いろいろな楽しいイベントを企画して、若い力でえびの市を盛り上げていきたいです」と話すのは、MAIKA代表の川俣敏郎さんです。

MAIKAは、市内の20歳から35歳ぐらいまでの若者12人で構成されています。若者の視点で新しいイベントなどを計画・運営する団体です。これまでに婚活イベントや清掃活動、フリーマーケットなどを企画・運営してきました。

「MAIKAの名前は、真幸・飯野・加久藤の頭文字をとって付けられています。えびの市が一つになって欲しいという意味が込められています。しかし、名前は、まだまだ認知不足です。活動を通じて名前を覚えてもらえるよう、会員一丸となって頑張っていきたいです」と代表の川俣さんは話します。

2年目のシバフdeフリマ

3月16日、今年で2回目を迎えるイベント「シバフdeフリマ」が国際交流センターで行われました。「今年のフリマでは、来場者が楽しめる工夫をしました。フリーマーケットを楽しんでもらうのはもちろんですが、親子連れのお客さんが子どもと一緒に楽しんでもらえるよう、ボール遊びなどができるキッズ

広場を設けました。大盛況でした」と代表の川俣さんは、笑顔です。

久保和子さんは、「今回のフリマでは、出店者を集めるのに苦労しました。出店数が少なかったら、お客さんに申し訳ないと思います。メンバー全員で必死に出店の募集を行いました。イベントが終わり、お客さんから『楽しかった。来年も楽しみにしています』と言われました。メンバー全員やってよかったと達成感を味わえました」

一緒にえびの市を盛り上げよう

京都からえびの市にやってきたという林竜太郎さんは、「引越して来たときは、えびの市内のことを全く知りませんでした。そんな中、職場の同僚に誘われて、えびの市に少しだけでも知らうと、MAIKAに入りました。入ってみると、皆さん気さくで、活動も楽しく、たくさん仲間と出会うことができました」

久保さんは、「仲間全員で毎回新しいことに挑戦しようという知恵を出し合っています。何でも気さくに話せる楽しい仲間です。私たちと一緒に活動してくれる人を募集しています。私的には、イケメンの割合が高いと思います。ぜひ、MAIKAと一緒に活動しませんか」

MAIKAの活動に興味のある人や一緒に活動を行いたいと思う人は、社会教育課(☎35・2268)までご連絡ください。

今月紹介するのは、男の腕まくり料理教室の皆さんがつくった「ブロッコリーのガーリック炒め」です。

ブロッコリーのガーリック炒めは、ブロッコリーのシャキッとした食感がたまらない一品です。また、ガーリックの香ばしさが食欲をそそります。料理の前菜やお酒のおつまみにもピッタリです。

料理のポイントは、ブロッコリーをゆで過ぎないことです。ゆで過ぎるとブロッコリーが水っぽくなってしまいます。お好みの固さになるようゆで時間を調節してください。炒める時は、ブロッコリーの水気をしっかり切ってください。不十分だと、できあがり水っぽくなります。



ブロッコリーの食感とガーリックの香ばしさが絶妙な一品

今月の一品 ブロッコリーのガーリック炒め

Recipe レシピ

【材料】(2人分)

ブロッコリー 80g、赤ピーマン 小1/2個、エビ 20g、ニンニク 1/4かけ、オリーブ油 小さじ1、塩 小さじ1/2、こしょう 適宜

【作り方】

①ブロッコリーは小房に分けてゆでる。
②ニンニクはみじん切りにする。
③赤ピーマンとエビは1cm角切りにする。
④フライパンに油とニンニクを入れ、③を加え炒める。最後にブロッコリーを加え炒め、塩、こしょうで味を調える。

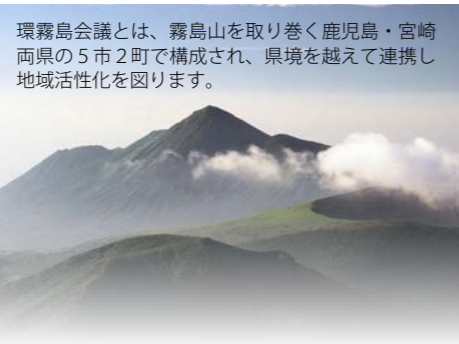


【紹介者】男の腕まくり料理教室の皆さん

目指せ！世界ジオパーク認定



環霧島会議とは、霧島山を取り巻く鹿児島・宮崎両県の5市2町で構成され、県境を越えて連携し地域活性化を図ります。



環霧情報



環霧島 探訪

第6回目の「ぐるっと霧島周遊列車」は、高原町を紹介します。

【高原町観光協会】

高原町には高原町観光協会があります。観光協会には昨年地域おこし協力隊員の石田大樹さん(大阪出身)と村上道人さん(福岡出身)がいます。

石田さんは制作会社での経験を生かし、高原町の観光PRや各種企画立案に力を入れています。村上さんは、ウエ



石田さん(上)と村上さん(下)

イトリフティングで培っている自慢の体力を駆使し、各種イベントの準備などで、町内を駆け回っています。

【駅サイティング市高原駅店】

高原町観光協会の近くには「駅サイティング市高原駅店」があります。平成22年に口蹄疫からの復興を掲げオープンしました。店では、高原町内の物産を中心に、野菜や灰干肉などを販売しています。

ここでの楽しみの一つが、田上修子店長がいただけるおいしいお茶を飲みながらのおしゃべりです。店には、いろいろな人が立ち寄ります。

毎月第二水曜日は活魚屋さんとは本場韓国キムチ屋さんが物販に来ます。新鮮でおいしい魚とキムチが人気です。



笑顔が素敵な田上さん

EVENTS OF KANKIRISHIMA

高原町



たかはるよりどり交流市

- 日時=5月18日(日) 午前8時30分~午前11時
- 場所=高原町中央商店街
- 内容=商店街に30台~40台の軽トラが並びます。月によって内容が変わる無料のふるまいや体験コーナーなどが行われます。

☎たかはるよりどり交流市運営協議会
☎42-1839

小林市



生駒高原ポピーまつり

- 日時=4月19日~5月18日 午前8時~午後5時
- 場所=花の駅生駒高原
- 内容=広さ8ヘクタールの丘に、色鮮やかなポピーが一面に咲きわたる様子は圧巻です。入園料は、高校生以上520円、中学生300円、小学生以下は無料です。

☎小林市観光協会
☎22-8684

不審電話が連続発生！



宮崎県内で県警や銀行協会を名乗った不審電話が連続して発生しています。受け取りに来た男に多額の現金をだまし取られる事案も発生しています。不審電話には、注意してください。

不審な電話がかかってきた時は、すぐに警察署等に相談してください。

【もし、不審電話がかかってきたら】

- ・不審な電話があったら、一人で判断せずに、必ず家族に相談しましょう。
- ・必ず相手の名前、組織名、電話番号などを聞き、電話を切った後に、104などで調べ、確認しましょう。

3月の交通事故発生状況	人身	11件	本年累計	39件
	物件	20件	本年累計	86件

えびの消防署の人事異動



4月1日付けの人事異動で職員が変わりました。

【着任】加藤 啓一郎（中央消防署）、山本 大祐（中央消防署）、湯田 祥弘（中央消防署）
よろしくお願ひします。

【離任】田上 博（中央消防署）、今村 栄（消防本部警防指令課）、九嶋 正人（高原分遣所）、坂元 司（須木分遣所）

【退職】長崎 孝一

お世話になりました。

※火気を取り扱う場合は、万全の準備と十分な注意をお願いします。

3月の活動状況 【えびの消防署管内】	火災	0件	年計	2件
	救急	76件	年計	222件

まちづくり活動

ぶらいど21基金助成団体の活動紹介



自治公民館での防犯活動

地域の見守りボランティア

加久藤地域防犯パトロール隊

加久藤地域防犯パトロール隊は、地域の交通安全と防犯のボランティア活動をするために有志7人で結成しました。交通安全活動では、小・中学校の登下校時に交差点に立って子どもたちの見守りをしています。登下校中の子どもたちが元気よくあいさつをしてくれることが私たちの活動の喜びになっています。また、自分たちで通学路を歩き、危険な場所がないかを確認してい

ます。危険と思われる場所を見つけた場合は、関係機関に伝えています。防犯活動では、自治公民館で、地域の高齢者と防犯についての話をしたり、一人暮らしの高齢者宅の訪問をしたりしています。平成24年度からぶらいど21助成金を活用して、パトロールの時に着用する制服や帽子、ステッカーなどをそろえました。今後も、私たちの活動が、少し



加久藤地域防犯パトロール隊長 上野 芳伸

でも安全な地域づくりに役立つよう積極的に活動していきたいと思っています。現在、会では、会員を募集しています。安心、安全な地域づくりやボランティアに関心のある人は、一緒に見守り活動をしませんか。

男女共同参画



第2次市男女共同参画基本計画を策定

市では、えびの市男女共同参画推進条例の規定に基づき「第2次えびの市男女共同参画基本計画」を策定しました。この計画を策定した背景として、「性別による固定的な役割分担意識やそれに基づく社会慣習や社会制度・慣行が依然として根強く残っていること」、「配偶者等からの暴力を含む女性に対する暴力が存在すること」、「男女が共に家庭生活と仕事、地域・社会活動を両

立しやすい環境整備が望まれていること」、「政策・方針決定過程への女性の参画拡大を促進する必要があること」などがあります。全国的に見ると、人口減少や高齢化社会の進展、経済の低迷や雇用環境の悪化などの社会情勢の変化、さらには男女共同参画の視点に立った防災対策や災害復興など新たな課題への対応が必要となってきました。

この計画を実行していくためには、行政はもとより、市民の皆さん、事業者や団体のご理解とご協力が必要です。誰もが個性と能力を発揮し、その人らしく生きられるえびの市を共につくっていきましょう。

文：市民協働課

いきいき！健康



はつらつサポーター養成講座受講生募集

「年をとっても、元気でやりたいことを楽しみながら暮らしたい。できれば住み慣れた土地で」と多くの人は考えると思います。平成12年に開始された介護保険では、認定者数、サービス利用者数ともに右肩上がりに、増え続けています。誰もが好んで病気になるわけではなく、介護を受けているわけでもありません。しかし、健康寿命を伸ばし、せめて介護を受ける期

間は短くしたいものです。そのためにも、自分で健康管理やできる事は行い、そして、余力を他の人を助ける事に使う事も重要です。意欲のある人ができるだけ支える側に回ってもらうことで、高齢者の生きがいづくりや世代間のバランスを保つことができます。そこで、地域包括支援センターでは、介護予防について正しい理解と知識を身につけ、介護予防事業実施のサポート役となるボ

ランティアの養成講座を行います。【開催日】5月23日～6月27日、毎週金曜日 【時間】午後1時30分～午後3時30分 【場所】高齢者交流プラザ（えびの警察署前） 【参加料】無料（※介護保険の認定を受けていない人） 養成講座の詳細について、市長寿介護課、地域包括支援センターまで問い合わせください。 ☎ 35・1111（内線279） 文：萩原保健師

BOOKS
おすすめの一冊



星の声に耳をすませて

林 宛次 / 著
(株式会社講談社)

この本を読み終わったあなたは、きっと夜空を見上げてしまうでしょう。「こんなに美しいものが空にいつでもあるのに、それを知らない人もいます。どうにかしてこの美しいものを見せたくて、僕は写真を撮り続けているんだと思います」天体写真家が語る、天文学の世界の扉を開けてみませんか。星のまたたき、一つひとつが語りかけてくるでしょう。



季節を感じる和の暮らし

河上 清 / 発行人
(株式会社学研マーケティング)

日々の暮らしを潤すライフスタイルへようこそ。この本には、情緒あふれる和の暮らしや、春夏秋冬のおもてなし、布に秘められた魅力と活用術など、日本の和の暮らしなどがたっぷり紹介されています。本誌の和の趣を生み出すお気に入りのアイデアや、コーディネートも参考にしながらひと時の癒しをお楽しみください。

【最近入ったおすすめ本】

- 「約束の海」 山崎 豊子 著 新潮社
- 「おもてなしの定番」 エイ出版社
- 「5回で折れる！折り紙おもちゃ」 築地製作所 編 PHP出版社
- 「祈りの証明」 森村 誠一 著 角川書店
- 「心の力」 姜 尚中 著 集英社

えびの市民図書館

☎35-0242 <http://www.e-tosho.com/ebino/index.html>

■開館時間 ■ 火曜日～土曜日 / 午前9時～午後7時 日曜日・祝日 / 午前9時～午後5時
■休館日 ■ 毎週月曜日 (祝日法に定める休日と重なった場合はその翌日)

◎イベント

図書館探検

- 日時=5月25日(日) 13:30～
- 場所=市民図書館
- 参加料=無料
- 対象=小学生10人程度
- 参加方法=5月18日(日)までに図書館に電話が直接、参加を申し込みください。なお、定員に達した時点で、受け付けを終了します。



◎5月のスケジュール

2	金	移動図書館車巡回③	13:20～15:35
3	土	おはなし会	10:30～11:30
7	水	図書館休館日	
10	土	おはなし会	10:30～11:30
11	日	1日図書館員体験	13:30～
12	月	図書館休館日	
14	水	移動図書館車巡回①	14:10～15:35
17	土	おはなし会	10:30～11:30
19	月	図書館休館日	
21	水	移動図書館車巡回②	13:20～15:05
23	金	移動図書館車巡回③	13:20～15:35
24	土	おはなし会	10:30～11:30
25	日	図書館探検	13:30～
26	月	図書館休館日	
28	水	移動図書館車巡回①	14:10～15:35

※おはなし会:乳幼児10:30～11:00、4歳以上11:00～11:30

※移動図書館巡回

- ①飯野駅前地区体育館→飯野出張所
- ②岡元小学校→市立病院→さくら苑
- ③飯野地区公民館→警察署官舎→老人福祉センター



シルバー人材センターが始動

高齢者の能力を積極的に活用し、生きがいある地域社会づくりを」と設立された「えびの市シルバー人材センター」が、4月1日から業務を開始しました。(平成5年4月号掲載)



川内川にアユとコイの稚魚を放流

3月30日、川内川上流漁業協同組合が、川内川本流10か所に、アユの稚魚1万6千匹とコイの稚魚1万匹を放流しました。(平成5年4月号掲載)



えびの市消防団入退団式

4月4日、えびの市消防団入退団式が加久藤中学校体育館で行われました。式では、通常点検や新入団員宣誓などが行われました。

(平成5年4月号掲載)

このコーナーは、これまでの広報紙の記事を一部抜粋、修正して掲載しています。

心の一首一句

あなたもつくってみませんか。

短歌

芽吹く山ひと雨ごとに色づきに
かそかに聞こゆ鶯の声

原田 岡本克子
春あらしと四月の雨は美しく万物の芽吹を誘う。春日の霞たなびく中に鶯の鳴き声を聞きながら、四月の清々しい風と光にふと春の愁を感じている作者であらうか。繊細で詩情豊かな詠である。(評:竹下妙子)

俳句

燕 来る小学校の窓全開

中島 川原伊津子
新学期が始まりました。一年生は、もう学校生活に慣れたでしょうか。教室から明るい歌声が聞こえてきます。(自註)

詩

なにして遊ほ

町 石井高子

遊ほ 遊ほ 何して遊ほ
「石蹴りする者 この指とまれ」
和くん ふーちゃん
みっちゃん 蓮くん
ジャンケンポンよ アイコでしょ
遊ほ 遊ほ 何して遊ほ
「かくれんぼする者 この指とまれ」
悠くん ひーちゃん
りっちゃん まーくん
ジャンケンポンよ アイコでしょ
遊ほ 遊ほ なにして遊ほ
「鬼ごっこする者 この指とまれ」
たーくん ゆみちゃん
ジャンケンポンよ アイコでしょ
みんな なかよし また 明日

4月から児童扶養手当の支給額が変更になります

児童扶養手当は、父母が離婚するなどして、父または母の一方からしか養育を受けられないひとり親家庭などに支給されます。

児童扶養手当の支給額は、物価の上昇や下落に応じて増減するようになっていました。近年の消費者物価の下落を受けて、児童扶養手当の支給額は平成26年4月分から減額されることになりました。加算額については変更はありません。

	変更前(月額)	変更後(月額)
児童1人の全額支給の場合	41,140円	41,020円
児童1人の一部支給の場合	9,710円～41,130円	9,680円～41,010円

※詳しくは、市福祉事務所子育て支援係までお問い合わせください。

☎市福祉事務所子育て支援係

☎35-1111(内線269)

風しんウイルス抗体検査、任意予防接種(MR)の費用を助成します

○風しんウイルス抗体検査

【助成対象者】検査日にえびの市に住民登録があり、以下の条件のいずれかを満たす人

①現在、妊娠している女性の夫・パートナー

②妊娠を予定または希望している女性

③②の人の夫・パートナー

ただし、以下の人は除きます。

①過去に風しんにかかったことのある人

②過去に風しんを含むワクチン接種を2回以上行った人

③風しんに対する抗体価があると判明している人

④現在、妊娠中の人

【助成期間】4月1日(火)～平成27年3月31日(火)

【検査費用】無料(市が全額助成)

【必要なもの】健康保険証

○麻しん・風しん混合(MR)ワクチン任意予防接種

【対象者】接種日にえびの市に住民登録があり、本事業により実施した風しん抗体検査の結果が陰性の人

【助成期間】4月1日(火)～平成27年3月31日(火)

【自己負担額】4,000円(10,505円のうち6,505円分を市が助成) ※生活保護世帯、非課税世帯の人は無料

【必要なもの】健康保険証

【実施医療機関】

【えびの市】えびの眼科こども小児科医院、えびの共立病院、京町温泉クリニック、えびの第一クリニック、えびのセントロクリニック、前田医院、渡辺医院、いしざわ循環器内科、えびの市立病院

【小林市】池田病院、西小林診療所、上田内科、小林泌尿器科クリニック、せの内科クリニック、大森内科胃腸科、沖内科・小児科医院、桑原記念病院、近藤内科クリニック、すわクリニック、園田病院、高崎皮膚科医院、たなか循環器内科クリニック、花田耳鼻咽喉科、ひろた内科クリニック、松山医院、二口子供医院、堀胃腸科外科医院、前田内科医院、横内視鏡内科病院、宮崎医院、山田内科・循環器科、小林市立須木診療所、押川病院、野尻中央病院

【高原町】川井田医院、国民健康保険高原病院、ふきやま霧島東麓クリニック

※詳しくは、市健康保険課市民健康係が実施医療機関に問い合わせください。

☎市健康保険課市民健康係

☎35-1111(内線281・284)

ご利用ください えびの市高齢者交流プラザ

4月13日、飯野地区コミュニティセンター横に、えびの市高齢者交流プラザ石田記念館「なごみ」がオープンしました。

この施設には、事務室、娯楽講座室、カラオケルーム、

運動トレーニング室などが設けられています。

えびの市交流プラザ石田記念館「なごみ」は、市内の多くの高齢者に健康維持の増進や、さまざまな人との交流の場として利用してもらうための施設です。お気軽に、ご利用ください。

【場所】えびの市大字原田112-1(飯野地区コミュニティセンター横)

【利用時間】午前9時～午後5時

【利用料】無料

【対象者】市内の60歳以上の人

※利用する場合は、事前に予約が必要です。えびの市高齢者交流プラザか市長寿介護課まで予約をお願いします。

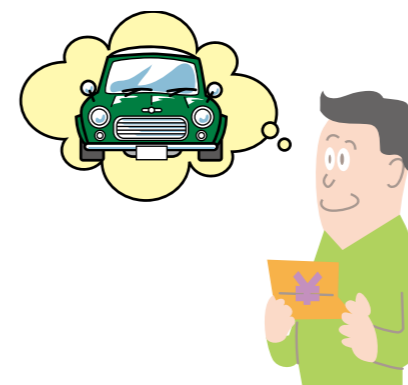
☎市長寿介護課高齢者係

☎35-1111(内線253)

☎えびの市高齢者交流プラザ石田記念館「なごみ」

☎33-0984

軽自動車税は納期内に納めましょう



軽自動車税は、毎月4月1日現在で、宮崎運輸支局に登録してある軽自動車や126cc以上のバイク、市町村で登録されているバイク(125cc以下)や小型特殊自動車を持っている

る人に課税されます。

軽自動車等の所有者は、6月2日(月)までに軽自動車税を納めてください。

市役所または金融機関、各コンビニエンスストアでも軽自動車税を納めることができます。詳しくは、納税通知書をご覧ください。

もし、5月中旬までに納税通知書が届かないときは、市税務課まで問い合わせてください。

なお、障害者のために使用する自動車について、一定の要件に該当する場合は、5月26日(月)までに申請すれば、自動車税の一定額が減免されます。

☎市税務課市民税係

☎35-1111(内線213・216)

音声(朗読)ボランティア講座 受講生募集

宮崎県立視覚障害者センターでは、小林えびの西諸県地区で、音声訳(朗読)ボランティア養成講座を行います。この講座は、視覚障害者が豊かな生活を送れるように、広報紙や議会だより、本など、分かりやすく読み上げるための講座です。

【開催日時】平成26年5月～平成27年3月

第2、第4土曜日(午後1時30分～午後3時30分)

【場所】小林市社会福祉センター(小林市立図書館横)

【講師】堀之内悦子、水間節子

【受講料】無料(テキスト料は必要)

【申込方法】小林市社会福祉センターに電話で申し込みください。

☎小林市社会福祉センター

☎23-3466



◎今月の表紙

4月6日、永山運動公園で平成26年度えびの市消防団入退団式が行われました。式では、えびの市消防団ラッパ隊の吹奏が行われました。

今月の納税

固定資産税 第1期

介護保険料 第1期

4月30日(水)までに納めましょう。

人口 20,040人(-159人)

男性/ 9,348人(-99人) 女性/ 10,692人(-60人)

転入/ 167人 転出/ 310人

出生/ 14人 死亡/ 30人

世帯数 8,837世帯(-35世帯)

(平成26年4月1日現在)

広報の担当者として5年目の春を迎えました。今年度もわかりやすく、読みやすい広報紙をモットーにがんばってまいります。取材先で見かけたら気軽に声をかけてください。(川野)

Editor's



写真:キリシマツツジ (平成22年4月10日 大河平小学校)

「ヤマツツジとキリシマツツジ」

真紅で一重の花を咲かせる「本霧島」。例年4月中旬ごろに大河平小学校で見ごろを迎えます。

キリシマミズキやハルリンドウがほころび、花の季節を迎えました。日当たりのよい林縁などに赤い花を咲かせているのはヤマツツジです。ヤマツツジは九州から北海道まで広く分布し、霧島山では山麓から山腹にかけてよく見られます。

ヤマツツジと、より火山高地に適応したミヤマキリシマの間には雑種ができることがあり、花の色や形にさまざまな変異があります。この雑種の特に美しいものがキリシマツツジの原種であると言われています。

キリシマツツジは江戸時代に園芸種として愛好され、全国に広まりました。石川県の能登地方には樹齢100年以上の古木が約280本残されています。中でも真紅で一重の花を咲かせるものは「本霧島」という伝説ある品種です。この「本霧島」を霧島周辺で見ることが出来る場所は多くありませんが、大河平地区で保護されている大河平つつじが「本霧島」です。大河平小学校には樹齢400年とも言われる大木が約58本あり、例年4月中旬に見ごろを迎えます。

(文/えびのエコミュージアムセンター)

ヤマツツジ
Rhododendron kaempferi
キリシマツツジ
Rhododendron obtusum
ミヤマキリシマ
Rhododendron kiusianum

ツツジ科ツツジ属